

ノロウイルスにインフルエンザ、少しおさまってきたと思ったらスギ花粉、中国からの黄砂、PM2.5（微小粒子状物質）と健康被害を脅かす因子が後をたちません。予防できる手段のひとつにマスクがあります。しかし、マスクにも色々な種類があり適切な種類を使用しないとその役割をはたしません。

ガーゼマスク

不燃布製のマスクより目が粗いが通気性がよい。そのため、ガーゼを重ねたものが古くからマスクに用いられてきました。不燃布マスクより防塵性能は低いですが、温かく喉の湿度を保てるため風邪を引いたときや、お口の乾燥防止に効果的です。



不燃布製の花粉用マスク

網目の大きさは、5ミクロン以上ありウイルスを通してしまいます。

不燃布製の風邪・インフルエンザウイルス対応マスク

インフルエンザウイルスは約0.1ミクロンのため乾燥したままではマスクを通過してしまい、ウイルスの吸い込みを予防することは難しいです。しかし、湿気をふくんだウイルス飛沫は5ミクロンとなるためマスクを通過しません。インフルエンザにかかった時は、他の人への感染を防ぐ為にはマスクは必需品です。

特殊なマスク 遮断率試験「PFE」の基準クリアのマスク（粒子径0.1ミクロンの物質を遮断）

浮遊粒子状物質（SPM）は大気中に浮遊する粒子状物質のうち、粒径10ミクロン以下の物と定義されています。PM2.5はさらに小さい粒子のことです。微小粒子の大部分は化石燃料が燃焼して生じたガス状の大気汚染物質が大気中で変化した人口発生源由来のものであり、自然由来の粒子よりも毒性が強いと考えられている成分を多く含んでいます。さらに微小粒子ほど肺胞などの気道の奥に沈着し、結果として健康を害しやすくなります。現在このPM2.5を防ぐことの出来る目の細かいマスクです。マスクはあくまでも予防です。毎日のうがい、手荒いなどの予防方法と併用でより効果をたかめましょう。



**咳1回で約10万個
飛沫距離 2m
のウイルスを含む
飛沫が飛びます**

**くしゃみ1回で約200万個
飛沫距離 約3m
のウイルスを含む
飛沫が飛びます**

粒子の大きさ比較	直径（ミクロン）
人の髪の毛	70.0
スギ花粉	30.0
インフルエンザウイルス飛沫	5.0
PM2.5（微小粒子状物質）	2.5
インフルエンザウイルス	0.1
ノロウイルス	0.035

